



Kenta Fujii / Shizuka Okazaki / Kazuki Yukimura
2019 MFJ ALL JAPAN ROADRACE CHAMPIONSHIP SERIES

2019 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第4戦 in 筑波
茨城県 筑波サーキット(1周2.070km)

- 藤井謙汰 J-GP3 予選 RACE 1: 20番手(タイム:1分01秒529) RACE 2: 20番手(タイム:1分01秒647)
決勝 RACE 1: 9位 決勝 RACE 2: 14位
- 岡崎静夏 J-GP3 予選 RACE 1: 11番手(タイム:1分00秒887) RACE 2: 11番手(タイム:1分01秒098)
決勝 RACE 1: 6位 決勝 RACE 2: 7位
- 行村和樹 ST600 予選 RACE 1: 29番手(タイム:59秒314) RACE 2: 25番手(タイム:59秒341)
決勝 RACE 1: DNF 決勝 RACE 2: 22位

2019年6月22日(土) 公式予選・レース1 天候: 曇り・雨 コース: ドライ・ウェット

6月23日(日) レース2 天候: 曇り コース: ドライ

観客動員数: 7,500人(2日間合計)



- | | |
|-----------|---|
| 5 | 藤井 謙汰 Kenta Fujii class : J-GP3 machine : NSF250R |
| 13 | 岡崎 静夏 Shizuka Okazaki class : J-GP3 machine : NSF250R |
| 14 | 行村 和樹 Kazuki Yukimura class : ST600 machine : CBR600RR |

岡崎静夏が両レースでシングルフィニッシュ!



できず7位フィニッシュ。藤井は思うようにペースを上げられず14位となつた。

ST600クラスの行村は、レース1では8周目の1コーナーで接触があり転倒。再スタートするかマシンにダメージがあり、そのままピットインしリタイア。レース2では、大きくセットを変更したが、裏目に出てしまう。苦しいレースとなつたが22位で完走を果たした。



全日本ロードレース選手権2019年シーズンの前半戦を締めくくる筑波ラウンドが開催された。このラウンドは、昨年から全クラス2レース制となっており、土曜日に公式予選とレース1、日曜日にレース2というスケジュールで行われた。周回数は、20周と少なく、パッキングポイントが限られているタイトなコースでは、激しい戦いが予想された。

前週に行われた事前テストは、ドライコンディションで行われたが、3人とも苦戦していた。特に藤井と行村は、筑波での経験値が少ないためか、なかなかタイムを出せないでいた。とはいえ、藤井は、SUGOラウンドでは、3位に入ってしまいライダーとしての経験も豊富。激戦のST600クラスを戦う行村もタイムを出せなければ予選落ちの可能性もあるだけに、ベースの底上げが急務となっていた。

レースウイークは、不安定な天候に翻弄された。金曜日のJ-GP3クラスの2本目では途中で雨が降り、全車がピットイン。直後に日差しが出てくると路面はすぐに乾き、各ライダーは再びコースインして行った。土曜日も公式予選は、J-GP3クラスはドライで行われたが、ST600クラスBグループのセッションで雨が降ってきてしまい組アタマ取りでグリッドが決まることになった。今回は2レース制のため、ベストタイムでレース1のグリッド、セカンドタイムでレース2のグリッドが決まるため、2度全力のアタックをしなければならない。

J-GP3クラスのレース1は、このレースウイークで初めてウェットコンディションとなる。スタートが切られるが2周目のS字コーナーで転倒した車両がコース上に残ってしまったため赤旗中断。13周の超スプリントで再スタートが切られることに。岡崎は、オープニングラップを8番手で終えると、降りしきる雨の中、ペースをつかむと前のライダーとの差を詰めていく。そしてラストラップは、最終コーナー立ち上がりで狙い通り1台をパスし6位でフィニッシュ。藤井も9位となり2台がトップ10に入った。



藤井 謙汰 コメント

「筑波は経験値が浅く、独特な走りが必要となるコースなので、その攻め方がつかみきれずに終わってしまった感じですね。それでも自己ベストをレース中に更新しています現状でできることは、やりきったと思います。とはいっても、まだまだでしたし、課題が残りました。後半戦は、全て西のサーキットなので、気持ちを切り換えてトップを目指します」

岡崎 静夏 コメント

「事前テストからレースウイークの金曜日と、いろいろセッティングを試しながらネガを消していくのですが、予選で何とか単独で1分00秒台を出せたのですが攻めても、うまくタイムを出せない状態でした。レース1はいきなり雨になってしまい不安しかなかったのですが、スタートすると、すぐ安定して走ることができたので、苦手意識がなくなったことは大きな収穫でした。レース2はコーナーの進入で余裕があつたので、1台ずつ抜いて行こうと思っていたのですが、違う問題が出てまいり、結局離されてしまいました。ただ、次戦に向けて、いいデータが取れたので、後半戦も表彰台を、トップを目指して行こうと思っています」

行村 和樹 コメント

「筑波は難しかったですね。自己ベストは更新できたのですが、レース内容は全日本に参戦するようになって最低のものでした。レース1は接触があり転倒。レース2は、大きくセットを変えたのですが、それに適応できず終わってしまいました。得意のブレーキングでは、前に行けると思っていたのですが、全く足りませんでした。次戦は、ホームコースの岡山なので、事前テストからしっかり組み立てて行きたいと思っています」

小原 齊 監督 コメント

「筑波ラウンドは全体的に苦戦した感があります。それぞれ何が原因だったか、しっかりと検証して尾を引かないようにしたいですね。岡崎は苦手だった雨を克服したのでギリギリ合格点と言ったところですが、まだまだレースで帳尻を合わせた感じなので、レースを戦ったという状況ではありませんでした。次戦の岡山ラウンドまで間がありますが、しっかりと戦える状態でレースウイークを迎えるように準備したいと思います」



Kohara
Racing Team

〒336-0977 埼玉県さいたま市緑区上野田607-1
TEL.048-878-7020 FAX.048-878-5688

NISSIN

YUTAKA
Chain for the Future

RK
TAKASAGO CHAIN

NGK
SPARK PLUGS

MOTUL

X-RAM

F.C.C.

Microlon

ENDURANCE
RACING

B-TITANIUM

FriXion

KDC
SERVICE